

「さあ、みんな、考えよう」

人権・同和部会 桑名人権フィールドワーク



2019年1月15日(火)に柘植地域まちづくり協議会人権・同和部会員13人で桑名市へ人権フィールドワークに行きました。行かせていただいた川沿いにあるこの地域は海拔0mのところも多く、台風などの大雨や川の増水の恐怖を抱えていました。同じ桑名市内にはスーパー堤防が設置されている地域もあるなか、この地域にはそれが設置されていませんでした。また、近隣にあるゴミ処理場や光化学スモッグなどのおいにも悩まされてきました。

産業として、ハップサンダルづくりを内職で分業していた家も多く、ミシンの音とにおいて家庭で勉強することの困難さもありました。また、必要な事業の周知が十分にされていなかったため、生活の困難さを抱えたままの人も多くいました。



あるとき、火事が起こりましたが、消火管が地域に来て



いなかったため、消火することができなかったことから対策事業がすすみ、住宅、道幅の拡張、教育の保障への取り組みがすすみました。昔、住民でお金を出し合って建てた地域の寺づくりのように、みんなで力をあわせて、人権のまちづくりをすすめていきました。

2月11日 前川解放文化祭開催

～ 当日の前川父母の会からの発信より ～

1970年代より地区学習や解放学習が始まり、そこでの学びを通して子どもたちが部落差別の不当性に気づき、怒りを持ち始めていきました。同時に、普段、学校で机をならべている隣にいる友だちが自分のことや前川のことをどのように思っているのか、不安や心配を感じ始める子どもが作文などに綴り始めるようになっていきます。学校での部落問題学習がすすめられてくる中、前川区の保護者の中から、保護者の連携を深め、ともに子どもを育てていこうと結集します。親として部落に対する思いを綴り、子どもには差別を受けさせてなるものかという思いから地区懇談会など、様々な場で被差別体験を語り、差別を許さない思いをたくさんの人に伝えていき、前川父母の会がスタートしました。

前川父母の会が主催する前川夏祭りは、地区の子どもたちや大人に楽しんでもらおうという目的の他に部落差別をなくすことを位置づけています。何よりも、地区外から子どもたちや大人の人に参加

してもらふことで、前川のほんの一部でもいいので触れてもらいながら地区住民同士や地区外の子どもたちや大人と交流することを通じて差別をなくそうと取り組んでいます。

部落差別は解決に向かいつつも、残念ながら今も残っています。私たち父母の会だけでなく、市内、県内、国内、そして世界中で差別をなくそうと取り組んでいる人たちがいます。悩み事や壁にぶつかった時、思い出してください。地域の高校生や青年がみんなより一歩先に差別をなくす活動に取り組んでいることを。今日、この解放文化祭にこれだけ多くの人々が参加していただき、ともに差別をなくそうとしてくれていることを。日本の中や世界にも差別をなくそうと取り組んでいる人たちがたくさんいることを。そして私たち保護者がいることを。



父母の会のメンバーからのメッセージより(一部を紹介)

- 差別やいじめはあってはならないことです。みんなが一人ひとり意識していれば減らすことができます。相手がいやがることを言ったり、悪口を言ったりしていませんか？「心と心のつながりを大切に」して下さい
- ありがとうございますと「有難う」。「有ることが難しい」です。その反対は当たり前なんだそうです。当たり前で過ぎてしまっている毎日の中にもたくさんのありがとうございますがあるんだなと思いました。毎日無気味でいてくれる家族にありがとう。いつも一緒に遊んでくれる友だちにありがとう。これからはありがとうございますの気持ちで生きていけたらいいなと思います。ママのもとに生まれてくれて、ありがとうございます。無気に大きくなってきて、ありがとうございます。
- 「ひとと違っていい」、自分の持っている良い所を周りが理解を示すと、自分が自信を持てる！そんな環境が1つでも多く、1人でも多くの人たちが増えていければいいなと思います。
- 今、目の前に居る君もここに立っている私も、誰かに大切にされています。もし、自分が居なくなったら・・・と考えたことはありますか？きっと、沢山の人が悲しむと思います。一人ひとりがかけがえのない存在、大切な命です。そのことを忘れず、毎日と過ごして下さい。
- 少しくらい勉強が出来なくても誰にでも優しい気持ち、友だちを想う気持ちを持っていてくれたら私はそれだけで十分です。あとはいつも笑顔で無気で居てくれたら私は幸せです。

文責・橋本浩信

2月、3月の講演会や研修会の案内

- 2月11日(月) 前川解放文化祭(9:00～) いがまち人権センター
大きな輪+柘植保育園、小学校地区学習会、中学校友の会、音楽教室、高校生友の会
- 2月14日(木) 青山人権学習会(19:30～) 青山文化センター
人権トーク&ライブ「そっとやさしく」(長島りょうがんさん)[音楽工房夢のかぼちゃ店主]
- 2月20日(水) 上野同和教育研究協議会連続講座(第3回)(19:30～21:00) ハイトピア伊賀
「マンガと偏見の複雑な関係 ～登場人物の外見と話し方から見えるものは～」(吉村和真さん)[京都精華大学]
- 2月22日(金) いがまち解放講座(19:30～21:00) いがまち人権センター
「子どもの貧困 子どもの視点から考える」(幸重忠孝さん)[滋賀県教育委員会スクールソーシャルワーカー]
- 2月22日(金) ライトピアおおやまだ「梅まつり」(19:00～21:00) ライトピアおおやまだ
- 3月5日(火) ヒューリアみえ研究報告会(13:30～) 三重県人権センター
「インターネット上の部落差別の実態把握と政策提言について」[ダイバーシティ&インクルージョンの三重をめざして]
- 3月16日(土) 伊賀人権ネット交流会(13:30～15:30) 大山田産業振興センター
「へこたれへん ～人はきつとつながれる～」(松村智広さん)[みえ人権教育・啓発研究会代表]
- 3月22日(金) 特別解放講座(19:30～) いがまち人権センター